

2/14、15 第45回いわぬま市民交流フェスティバル

あつまれ！いわぬま！笑顔咲く交流の輪

市民会館・中央公民館で「第45回いわぬま市民交流フェスティバル」が開催され、市内公民館などで活動する講座やサークルなど46団体が日ごろの活動の成果を発表しました。

舞台発表では、ダンスやカラオケ、楽器演奏などの発表が行われ、会場は温かい拍手と笑顔に包まれ、大いに盛り上がりました。

作品展示では多くの人が足を止め、写真や水彩画、編み物などの渾身の作品に見入っていました。



▲ビューティースタイルアップウォーキングの皆さん

2/13 笑顔と希望のカレープロジェクト

「夢のレトルトカレー」のお披露目会

玉浦小学校で、ニシキヤキッチンと玉浦小学校の6年生と一緒に企画開発した、レトルトカレーのお披露目会が行われました。

このプロジェクトは、子どもたちの夢をカタチにする体験を通じて、創造力を育み食育へつなげることを目的に行われたものです。

児童たちは、約1年をかけてニシキヤキッチンと無印良品のスタッフから商品企画や販売などの一連のプロセスを学び、力を合わせて2つの商品を完成させました。



▲児童が考えた「りんごやきにくカレー」と「にくカレー」

3/11 いわぬま震災語り部の会

後世へ伝えたい「備えよ、常に！」

東日本大震災の発災から15年となる3月11日に、千年希望の丘相野釜公園に慰霊で訪れた方に向けていわぬま震災語り部の会によるフリーガイドが行われました。

10代から80代までの会員5人が、慰霊碑と避難丘に分かれて当時の状況や震災からの復興の経緯、避難丘の防災設備などを説明しました。

慰霊で訪れた遺族は「もう15年ではなく、まだ15年。多くの人に、命の大切さや震災の教訓を知ってほしい」と話しました。



▲語り部ガイドの説明に聞き入る参加者

2/20 いわぬまフジパンの日

地元企業と交流し、パン作りを学ぶ

岩沼南小学校で、6年生を対象に(株)東北フジパンとの交流会が行われました。この交流会は、地元企業の取り組みを知り、地域への関心や愛着を育むことを目的に行われたものです。

(株)東北フジパンの社員から会社の概要やパンの製造工程などの説明があり、児童たちは熱心に耳を傾けました。参加した児童は「全部のパンがおいしい。特にスナックサンドが好き」と話しました。

同日には、市内の小・中学校の児童・生徒全員にパンが配布されました。



▲パンを受け取った代表児童と(株)東北フジパンの皆さん